

2017—2018年度

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



ロータリー：
変化をもたらす

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2192回 例会 2018年2月25日(日)

- | | |
|---------------------------|---|
| ■国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー | ■例会日 - 毎週水曜日12:30より(第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー 寺嶋 哲生 | ■例会場 - ホテルニューオータニ幕張 |
| ■第12分区ガバナー補佐 安藤 俊雄 | ■事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイツ101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 平田 洋一 | ■TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 大川 高明 | ■Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

WEEKLY REPORT

＜国際ロータリー第2790地区地区大会＞

8:30	登録開始	
9: 27	RI会長代迎ご入場 ご当地エイドご入場	RI会長代理 松宮 剛 パストガバナー 杉木 禎夫 ガバナー 寺嶋 哲生
9:30	点鐘 国歌斉唱(君が代) ロータリーソング「奉仕の理想」 開会の言葉 来賓祝辞	地区大会会長 柏西RC 榊 隆夫 千葉県知事 森田 健作 柏市長 秋山 浩保 我孫子市長 星野順一郎
	物故会員追悼	
9:50	来賓並びに参加者紹介 来賓, 地区外クラブ, 地区内パストがバナー	ガハナー 寺嶋 哲生
10:00	地区委員, ガバナー補佐紹介 地区内参加クラブ紹介 祝電披露 ガバナー挨拶	ガハナー 寺嶋 哲生 ガハナー 寺嶋 哲生 ガバナー 寺嶋 哲生
10:30	RI会長代理挨拶・現況報告	RI会長代理 松宮 剛
10:50	地区大会決議案の発表 同決議採決 選挙管理委員会報告 寄付贈呈(ロータリー財団・ロータリー米山記念奨学会・ロータリー希望の風)	決議委員長 宇佐見 透 ガバナー 寺嶋 哲生 選挙管理委員長 櫻木 英一郎
11:10	米山記念奨学生紹介 ホームカミング	委員長 富 一美 ジャンチブガルバドロッパ
11:45	ロータリー財団紹介 ロータリー平和フェロー紹介 青少年部門紹介 諸事お知らせ	奨学生・学友委員長 山本美代子 R平和フェローシップ委員長 織田信幸 青少年奉仕統括委員長 津留 起夫
	食 事	
12 :40	パフォーマンス(チアダンス) Kashiwa Golden Hawks 表彰(個人)	代表 オサギエ淑子
13:30	記念講演「プラチナ社会の達成とSDG sの実現」	プラチナ構想ネットワーク会長 小宮山 宏 様 ガハナー 寺嶋 哲生
	謝辞花束贈呈	
15:00	RI会長代理講話 ガバナーエレクト挨拶 ガバナーノミニエ挨拶 ガバナーノミニエデジグネイト挨拶 直前ガバナーに花束贈呈 RI会長代理講評 RI会長代理へ謝辞・記念品贈呈 次年度地区大会ホストクラブ会長挨拶	RI会長代理 松宮 剛 ガバナーエレクト 橋岡久太郎 ガバナーノミニエ 諸岡 靖彦 ガバナーノミニエデジグネイト 漆原 撰子 ガバナー 寺嶋 哲生 RI会長代理 松宮 剛 ガバナー 寺嶋 哲生 佐倉中央RC会長 萩原 勇作
15: 50	閉会の言葉 点鐘	地区大会実行委員長 長谷川 秀夫 ガバナー 寺嶋 哲生

WEEKLY REPORT

＜祝辞：星野順一郎我孫子市長＞

国際ロータリー第2790地区2017-18年度地区大会が、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

ロータリーには、112年の輝かしい歴史があります。これで、ロータリーは地域社会の変わりゆくニーズに対応しながら、利己のない奉仕の精神と多種多様な行動により発展を遂げてこられました。

国際ロータリー第2790地区の皆様におかれましては、野球, サッカー大会や映画祭などの青少年の健全育成をはじめ、老人施設への訪問支援や環境保全活動、寄付事業など地元密着の活動を積極的に展開され、地域社会の発展と福祉の向上に大きく貢献していただいております。

この場をお借りして深く感謝申し上げますとともに、歴代ガバナーをはじめ会員の皆様方の並々ならぬご努力に改めて敬意を表する次第です。

ロータリアンの皆様が、「ロータリー：変化をもたらす」のテーマのもと、これからも地域のリーダーとして、幅広い文化交流活動や人道的奉仕活動、教育活動等に取り組み人びとの人生により良い変化をもたらせてくれるものと期待しております。

我孫子市は、市民の皆様が安全・安心で健康に暮らせる施策に取り組むとともに、子育てしやすいまちづくりを推進しています。地域社会で様々な活動をされている皆様と力を合わせながら、我孫子らしさを活かし、市民の皆様がずっと住み続けたいと思える魅力ある活力あるまちづくりを進めてまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、寺嶋ガバナーをはじめ国際ロータリー第2790地区のますますのご発展と会員の皆様のご健

＜ご挨拶：寺嶋哲生ガバナー＞

この度、RI会長代理として松宮剛氏をお迎え申し上げ国際ロータリー第2790地区2017-18年度地区大会を開催できる運びとなりました事、そして、他地区のガバナーご夫妻を始めとし、2790地区内外から多数の皆様のご臨席を賜ります事、厚く御礼申し上げます、心より歓迎申し上げます。

イアンH. s. ライズリーRI会長が、特別のご配慮をもって当地区に派遣して下さいました松宮先生は、2012-14年度RI理事で、第2780地区のパストガバナーでいらっしゃいます。

今回、RI会長代理として当地区への派遣が決まった後には、事前に地区内三クラブの例会と、奉仕プロジェクトをご覧になりたい旨のご希望を頂きました。永年のロータリー活動を通じてロータリーの神髄に精通されるのみならず、真摯にRI会長代理をお努めになろうとする姿勢に、深く感銘した次第でございます。松宮先生のお話を拝聴できる機会を頂いたことは、私は元より、皆様の貴重な機会となる事と存じます。

また、本会議2日目には、千葉県知事・森田健作様、柏市長・秋山浩保様、および、我孫子市長・星野順一郎様のご臨席を賜り、ロータリー活動に対するご理解に加えて激励のお言葉を頂けます事は、大変に有り難く感謝を申し上げる次第です。

そして午後の記念講演では、第28代東京大学総長で、現在は三菱総合研究所理事長でいらっしゃる小宮山宏先生によるご講話を頂きます。小宮山先生は日本を課題先進国と称し、日本が抱える諸問題は世界に先んじて日本が直面している課題であり、日本がこれら課題を克服できたなら、課題解決先進国として世界の範となるであろうと主張されております。

日本を代表する知識人の一人である小宮山先生のお話を、楽しみに拝聴させて頂きたいと存じます。

この地区大会が、皆様にとって有意義な時間となります事を願い、地区内ロータリークラブの更なる飛躍をご祈念申し上げ、皆様お一人お一人のご活躍を心よりお祈り申し上げて、地区大会に臨むご挨拶と致します。

WEEKLY REPORT

<祝辞：森田健作知事>

「国際ロータリー第2790地区2017-2018年度地区大会」が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日ごろから地域社会や職場などにおいて、様々な奉仕活動を展開されていますことに敬意を表するとともに、県政の推進に御支援、御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

県では、新総合計画「次世代への飛躍輝け!ちば元気プラン」を昨年策定し、更なる発展と飛躍に向けた一歩踏み出しました。

この計画のもと、未来の千葉を担う次世代を見据え、人口減少、少子高齢化等の課題に対応し、本県の強みを生かした交流基盤・ネットワークの整備活用など、横断的な視点を持って施策を展開してまいります。

具体的には、「子育てするなら千葉!」の実現を目指し保育所等の整備や待機児童の解消などに積極的に取り組むとともに、「保健医療計画」等を改定し、医療・介護人材の確保・定着、効率的で質の高い医療提供体制の構築、障害のある人の地域生活への移行の推進等を図ります。

県民の「安全と安心」については、東日本大震災などの教訓を忘れず、「災害に強い千葉県づくり」に努めます。また、防犯ボックスや防犯カメラの設置促進等により、地域防犯力の一層の向上を図るとともに、関係機関と連携して「電話de詐欺」の撲滅に向けて取り組みます。加えて、交通安全県ちばの実現を目指し、官民一体での取組みを推進します。

県経済の活性化については、「第4次ちば中小企業元気戦略」を策定し、中小企業に向けた施策の充実を図るとともに、戦略的な企業誘致を推進します。また、働き方改革や女性活躍の推進等の取組みも進めていきます。

次世代を担う子どもたちが誇れるような光り輝く千葉県へさらに飛躍するため、本年も全力で取り組みますので、引き続き皆様の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、国際ロータリー第2790地区のますますご発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

<祝辞：秋山 浩保柏市長>

国際ロータリー第2790地区2017-18年度地区大会の開催をお祝い申し上げます。皆様には、常日頃より柏市政の運営に対しまして温かい御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

創立以来、歴代ガバナーの方々を中心に、地域社会の展のため、青少年の健全育成や環境美化運動など多種多様な活動を継続的に実践され、奉仕の理念を社会に広めておられる皆様に、深く敬意を表します。

さて、柏市は都心から約30kmに位置し、JR常磐線や国道6.16号など交通インフラにも恵まれ、特につくばエクスプレス開通後、沿線地域の発展は目覚ましいものとなっております。また、柏の葉キャンパス駅周辺には教育機関や国・県の研究機関などが集まり、最近では東京大学と産業技術総合研究所により、東京大学柏Ⅱキャンパスにおいて、「AIものづくり」を推進する産学官連携拠点の構築が始まっています。近年のAI技術の飛躍的な発展に伴い、多くの企業がAIを活用したビジネスモデルを展開している中、こうした拠点の誕生によって、柏で最先端の技術がいち早く活用され、千葉県の産業振興に大きく寄与することを期待します。

また、2019年にラグビーワールドカップが日本で開催されるにあたり、柏市は公認キャンプ地として立候補し、現在、誘致活動に取り組んでいます。76会場90自治体が候補地にある中で、本市を選んでもらうことはハードルが高いことかもしれませんが、誘致が実現すれば、スポーツ振興や国際化推進だけでなく、世界で活躍する選手を学校に招いてのラグビー教室の開催など、まちのにぎわいの創出や魅力の向上に繋がると考えます。

このような中、千葉県の魅力や知名度を更に高めていくためには、長きにわたり地域に密着した奉仕活動を継続してこられましたロータリアンの皆様方の存在は大変心強く、活気あるまちづくりには欠かすことのできない存在であると考えております。今後とも幅広い知識と見識を持ち、豊かな地域社会づくりに貢献されている皆様から御指導、御鞭撻を賜りながら、地域の活力維持と安心して生活できる環境の確保に努めてまいります。

結びに、国際ロータリー第2790地区の益々の御発展と、御参会の皆様のお健勝、御多幸を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

WEEKLY REPORT

<R I 会長メッセージ：イアン H ライズリー>

朋友ロータリアンならびに来賓の皆さま

2017-18年度地区大会によろこそお越しくございました。

地区大会は、地区の熱心なロータリアンと出会い、ロータリーの名の下に素晴らしい活動を共に成し遂げていく方法を学ぶ機会となります。

1935年に、ポール・ハリスは次のようにつぶっています。「世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は、何度も何度も書き替えられなければならないでしょう」。私もハリスとまったく同感です。ハリスがこの言葉を書き残して以来世界は大きく変わり、ロータリーも大きく変わりました。今日従来の方式による例会に加え、奉仕活動により力を入れるクラブもあります。大学を卒業して間もないロータリアンや、キャリアを踏み出したばかりのロータリアンに出会うこともあります。

会員の2割以上が女性であり、その数はさらに増え続けています。クラブと地域社会のために尽くす強くて革新的なリーダーがいてこそ、ロータリーが進化し、変化することができるのです。ロータリーで私たちは、同じ地域社会に住む人、そして世界の裏側にいる人を助けることの重要性を認識しています。子どもに読み書きを教え、ポリオのワクチンを投与し、医者がいない地域に医療を届けるとき、私たちの世代、そして将来の世代が住むこの世界にインパクトを与えることができます。貴地区の大会が感動に満ち、実り多いものとなります。願っております。ますますのご発展とご活躍をお祈りするとともに、「ロータリー：変化をもたらす」の精神の下、奉仕を通じて素晴らしいことを成し遂げていけると確信しております。

心を込めて

<R I 会長代理挨拶：松宮 剛>

三方を海に囲まれ海洋性で温暖な風土の房総にも暖かな陽春の訪れを待望する機運の高まりを感じます。やがて溢れる陽光の中、見渡す限りの菜の花が田園を黄色一色に染め尽すことでしょうか。待ち遠しい風景はもう目前です。

RID2790のロータリアンの皆さま、地区大会の開催おめでとうございます!心よりお慶び申し上げます。

本年度国際ロータリー会長イアンH. S. ライズリー氏ご夫妻の代理として当地区を訪問できますこと、妻共々大変嬉しく思っております。

今年度もすでに半ばを過ぎました。寺嶋哲生ガバナーの「理念と実践~Think Next~」という地区行動指針の下、地区内各クラブが着々とその成果を挙げておられることに敬意を表します。今年度RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」は、なかば問いかけとも言える未完のフレーズという体裁を採っていますから、「変化をもたらすための具体的な活動は、全面的に各クラブとその担い手である皆さんロータリアンに委ねられていることとなります。

そうした意味からもこの年度は、あらためて、ご自身にとってのロータリーの持つ意義を是非考えてください。

「利己と利他との調和」は、お題目でもなければそのバランスの要請でもありません。私は常々、ロータリーが人生にもたらすものは、“無尽蔵”であると思っています。

昨年10月18日と19日、館山ロータリークラブ例会を訪問し、勝浦ロータリークラブの創立55周年記念の奉仕プロジェクト「パネルシアター」に参加させていただきました。安房の風光とともに、ロータリーの活動に取り組まれているロータリアンお一人お一人のひたむきな表情に新鮮な感動を覚えたことをお伝えします。

本地区大会は、楽しいロータリーの学びと新たな仲間との出会いのまたとない機会の場です。積極的な参加意識があれば、きっと予期しなかった喜びが皆さんの心を満たすに違いありません。